

2年目 小中一貫教育 ● 連載 No.19 ●

生徒から見た小中一貫校 vol.1

〈中央校生徒会インタビュ〉



■問い合わせ 教育委員会 学校教育課 ☎75-12227

今回は、一貫校の学校生活や行事などを支える主体である生徒会にスポットを当て、生徒会活動や生徒から見た小中一貫校の良さ、アピールポイントを取材しました。

生徒会執行部インタビュー

あいさつ運動や交流活動を通じて 小中学校のつながりの架け橋に

(写真左から)

(生徒会長) 榎原健太郎さん
(副会長) 寺田 圭佐さん
(書記) 岸川 颯真さん



小中一貫校東原庁舎中央校中部生徒会は、生徒会執行部(生徒会長、副会長、書記)、専門部(保健、清掃美化、体育、掲示図書、生活安全、V&S(ボランティアアワードサービス)、厚生)から構成されており、各専門部は各クラスから2名ずつ選出され活動に取り組んでいます。生徒会では、毎朝校門前での『あいさつ運動』をはじめ、地域での清掃などのボランティア活動、学校行事の運営、小学部児童への『読み聞かせ活動』などの小学部との交流活動に取り組んでいます。



▲生徒会掲示図書部による読み聞かせ活動



▲生徒会V&S部の福祉施設でのボランティア活動

10月の定例教育委員会のお知らせ

日時 10月9日(木) 13時30分

場所 市役所 第2委員会室(自由に傍聴できます)
■問い合わせ 教育委員会 教育総務課 ☎75-13450



「あいさつ運動、勉強できる環境づくり、思いやり」を公約に生徒会長に立候補しました」と語る榎原さん。「式典でのあいさつや毎月の生徒集会での活動報告や呼びかけなど、リーダーシップを発揮する場面が多くなり、堂々とした発言ができるようになった」と自身の成長を振り返るとともに、生徒会は学校の伝統を中学部から小学部につなぐ架け橋の役割があるという自覚も育まれたそうです。また、副会長を務める寺田さんは「小中合同行事として12月には『論語カルフタ大会』、小学部多目的ホールでの4年生と9年生との『ふれあい給食』など小中一貫校ならではの活動もでき、中学生が小学生にやさしく接するよい機会です」と小中一貫校の良さを語りました。

書記の岸川さんは「昼休みや放課後など少ない時間での活動の準備は大変ですが、その分やりがい大きいです」と活動を振り返りました。一貫校の強みを活かした活動の企画や運営を行う生徒会のみならず、それぞれの活動を通じて中央校の伝統を後輩に受け継いでゆく強い思いを感じる取材でした。



▶執行部取材の様子



生徒会活動を通じて、
中央校らしい伝統づくりにつながっています

小中一貫校東原庁舎中央校
太田 春美 校長

生徒会活動は、生徒主体の運営です。各学校行事などでは生徒が主体となつて行事を支えています。

朝の『あいさつ運動』や、児童を対象にした『読み聞かせ活動』などでは小学部とのふれあいを育てる良い機会になっており、小学生のお手本、憧れの存在としての中学生の自覚を高めるきっかけにもなります。

また、中央校では、周りへの感謝の気持ちを伝える校門での『おじぎ』の取り組みと生徒会のあいさつ運動、ボランティア活動に取り組むV&S部による地域での清掃活動など生徒会活動とタイアップして、先輩から後輩へとつなげる良き伝統づくりにもつながっています。今後も学校の誇りとして定着させていきたいと考えています。

小城・多久地区中体連で、好成绩ラッシュ!!

去る7月に開催された小城多久地区中体連では、市内小中一貫校の活躍が目立ちました。

中央校でも各部活動で優勝するなど活躍しました。10月に全国大会へ出場する女子相撲の松尾菜奈さん(9年生)は「全日本選手権では準優勝でしたが、今回は優勝したいです」と抱負を語りました。

■大会成績(優勝) 敬称略

- 団体
 - ・軟式野球
 - ・ソフトボール
 - ・ソフトテニス男子
 - ・剣道男子
 - ・柔道女子
 - ・卓球女子
- 個人
 - ・剣道男子…鍵山壮真(県大会優勝)
 - ・柔道男子…広川大輝(60kg級)
 - ・寺田圭佐(66kg級)
 - ・柔道女子…浦郷絵里香(70kg級)



▶中央校職員室に飾られた優勝旗